

2024年度に実施したOff-campus Study Program

実施期間：それぞれ基本的に前後に事前授業、事後授業を実施することで実習の準備や実習で学んだ知識、スキルの振り返りを行い、プログラムを通した学びを深めています。

	プログラム名	実施形態	派遣国・地域/連携先	派遣期間	派遣目的	事業内容・学修成果の概要	成績評価
1	FIRST(海外)	海外派遣	韓国 (現地の活動地域はグループ毎に設定)	2024年5月30日～6月3日	1回生がクォーター間の休暇を利用して国外に赴き、そこで初めて出会う人々との交流や調査活動を通して、アジアの文化・社会に直接触れることが出来る短期集中プログラム。	グループ毎に設定した国・地域を対象としたアンケート調査・インタビューなどのリサーチ活動をオンラインにて行い、初歩的な調査法、グループ学修での学び方を修得した。また、事後アンケートから異文化への関心、知識の高まりも示された。	2単位 (P/F)
2	SECOND	海外派遣	マレーシア・タイ (現地の活動地域はグループ毎に設定)	2025年2月26日～3月6日	長期休暇期間を利用して東南アジアの複数の国に赴き、現地の人々にアンケート調査を実施することで調査手法の理解と東南アジア地域の文化理解を図る。国内学生・国際学生の混成グループで日英2言語で実施する。	必ずしも英語が通用しない地域での調査活動に苦戦しつつも、日々のグループ内ディスカッションを通して非言語でも含めた振り返りを行い現地でのコミュニケーション力の成長が見られた。また、事後アンケートでは学生の異文化への関心や挑戦意欲などで成長が見られた。	2単位 (A+, A, B, C/F)
3	AP言語イマージョン(中国語)	海外派遣	東北财经大学 (中国) 国立政治大学 (台湾)	2024年8月11日～9月15日 2025年2月16日～3月21日		言語運用能力について4技能が伸びたと感じる学生が多かった。	
4	AP言語イマージョン(韓国語)	海外派遣	高麗大学 (韓国)	2025年2月16日～3月15日	海外の大学や大学附属の語学学校などで、夏期・冬期休暇を利用して集中的に言語運用能力の向上を目指す。	集中的な言語研修を通して言語能力を向上させるとともに、歴史的・文化的背景等、言語の使用に必要な知識を得た。また、協定先大学の教員や学生との交流を通して異文化への理解を深めた。	2単位 (A+, A, B, C/F)
5	AP言語イマージョン(スペイン語)	海外派遣	グラナダ大学 (スペイン)	2025年3月1日～3月25日			
6	日本語イマージョン	国内派遣	日本、大分県 (別府市・鉄輪地区)	2025年2月17日～2月28日	冬期休暇を利用して集中的に言語運用能力の向上を目指す。	自分たちが住む別府の地域のニュースを読み、住民と交流しながら、地域理解を深め、あわせて言語向上と異文化理解を深めた。	2単位 (A+, A, B, C/F)
7	フィールド・スタディ (APS学部/障害と社会 / Disability and Society)	国内派遣	日本、大分県	2024年9月9日～9月12日			
8	フィールド・スタディ (APS学部/インドネシア地域研究プログラム：特異性を多角的に見る方法 / Indonesian Studies Programme: Uniqueness through Multifaceted Lenses)	海外派遣	インドネシア	2024年8月25日～8月31日			
9	フィールド・スタディ (APM学部/SOCIAL ENTREPRENEURSHIP)	海外派遣	フィリピン	2024年8月19日～8月29日			
10	フィールド・スタディ (ST学部/アイヌの里 北海道平取町 (二風谷) で、アイヌ文化を活かした観光振興を考える)	国内派遣	日本、北海道	2024年9月2日～9月6日			
11	フィールド・スタディ (ST学部/南阿蘇の震災復興と持続可能な社会の創生)	国内派遣	日本、熊本県	2024年9月2日～9月5日			
12	フィールド・スタディ (ST学部/沖縄本島北部のやんばる地域の人々の暮らしと地域づくり / People's lives and community development in the Yanbaru area in northern Okinawa main island)	国内派遣	日本、沖縄県	2024年9月2日～9月7日			
13	フィールド・スタディ (ST学部/別府市制100周年記念プログラム)グローバル都市ロンドン、世界遺産都市バーミンガムが持続可能な都市開発戦略 / [Beppu City 100th Anniversary Program] Sustainable Urban Development Strategies, learning from Global City London and World Heritage City Bath)	海外派遣	イギリス	2024年8月28日～9月5日			
14	フィールド・スタディ (ST学部/東峰村の中学生と地域づくり / Community Development with Secondary Students in Toho Village)	国内派遣	日本、福岡県	2024年9月3日～9月6日			
15	フィールド・スタディ (ST学部/持続可能な地域づくり 長野県飯田市における調査)	国内派遣	日本、長野県	2024年8月8日～8月11日			
16	フィールド・スタディ (APS学部/済州島地域の宗教 (シャーマニズムなどの民間宗教) と文化 (社会、政治、歴史、言語、教育、経済など) の変容)	海外派遣	韓国	2025年2月27日～3月4日	教員の指導のもとで、各学部の専門分野に関するテーマに基づき、現場で調査・研究活動を行い、自らの興味・関心を深め、専門的な理論と実践の架け橋となるプログラム。	アジア太平洋学の枠組みにおいて、ある事象について包括的に学修し、専門性、誠実さ、共感をもって国際社会で活躍できる人材を育てることを目的とし、異なる価値観・文化を持つ他者と適切に協働することを学び、様々な事象について観察、分析、調査、議論し、組織的な解決策を講じる能力を向上させた。	2単位 (A+, A, B, C/F)
17	フィールド・スタディ (APS学部/森林セクターのイノベーションと地域活性化 / Innovation via Forest Sector and Regional Vitalization)	国内派遣	日本、大分県	2025年3月11日～3月14日			
18	フィールド・スタディ (APM学部/Social Innovation and Entrepreneurship (SOLVE))	海外派遣	タイ	2025年2月18日～2月23日			
19	フィールド・スタディ (APM学部/醤油業界におけるステークホルダーとの共生)	国内派遣	日本、福岡県、兵庫県	2025年2月18日～2月19日			
20	フィールド・スタディ (APM学部/九州大学での新規事業開発 (ハラル料理関連事業、循環経済関連事業、水素エネルギー関連事業、など) / New businesses development (Halal food-related businesses, circular economy-related businesses, hydrogen energy-related businesses, etc.) at Kyushu University)	国内派遣	日本、福岡県	2025年2月15日～2月18日			
21	フィールド・スタディ (ST学部/Heritage Tourism in Rural and Urban Environments)	海外派遣	スペイン、ポルトガル、イタリア	2025年2月16日～3月2日			
22	フィールド・スタディ (ST学部/地方都市におけるSDGsの応用～ローカルSDGsのまちみやま市から学ぶ / Applying SDGs in local cities - Learning from the case of Miyama City as Local SDGs Town)	国内派遣	日本、福岡県	2025年2月16日～2月22日			
23	フィールド・スタディ (ST学部/環境と「観光」をテーマに、北九州市の環境問題の取り組みと産業遺産を活用した地域づくりを学ぶ)	国内派遣	日本、福岡県	2025年2月18日～2月21日			
24	フィールド・スタディ (ST学部/まち歩き (観光) の先進的取り組み、「長崎さくら」に学ぶ)	国内派遣	日本、長崎県	2025年2月17日～2月20日			
25	フィールド・スタディ (ST学部/Sustainable Development with Local and International Development Actors in Thailand)	海外派遣	タイ	2025年2月28日～3月6日			
26	プロジェクト研究 (APS学部/現代社会論-共生)について考える)	国内派遣	日本、新潟県	2024年8月27日～9月2日	3回生・4回生のゼミ履修生を対象に実施するゼミ連携型プログラムであり、セッション及び長期休暇期間中に、学外での実習を中心としたゼミ学習を継続して行う。	担当教員のゼミを履修する学生を対象に実施し、ゼミの授業に加え、プロジェクト研究に参加することで、自身の研究課題に対してより深い専門知識を修得し、その後の卒業論文の執筆へと繋げた。	4単位 (A+, A, B, C/F)
27	日本語(パートナーズ)	海外選航	インドネシア	2024年8月～2025年3月	ASEAN諸国の主として中等教育機関に赴き、現地日本語教師と学習者の日本語学習の「パートナー」として、授業のアシスタントや会話の相手役といった活動をするともに教室内外での日本語・日本文化紹介活動等を行い、日本語教育を支援する。また、現地の言語や文化についての学びを深めASEAN諸国の架け橋となることを目指す。	現地教育機関での教育サポートのみならず、授業内外で生徒と交流し、地域コミュニティに積極的に参加することで異文化理解力を養った。また、臨機応変に行動する力、フレキシビリティなど様々な能力を身につけた。	16単位 (P/F)
28	ダブルクリプログラム	海外派遣	St. Edward's University (米国)	選航期間 約2年間	海外協定大学とAPUで2年間ずつ学び両大学の学位を取得する共同学位プログラム	2年間という長期の海外滞在を通して、世界に通ずる多角的視野・教養・思考力を身に付ける。	手続を経て留学先での取得単位を APU の単位として認定
Salzburg University of Applied Sciences (オーストリア)							
Neoma Business School (フランス)							
31	国内交換留学	国内派遣	立命館大学 (日本、京都・滋賀・大阪)	1セメスター間もしくは1年間	APUと学生交換協定を締結している大学に派遣先大学へ学費を納入することなく半年または1年間留学し、主に各自の専門分野に応じた正規科目を履修する。	国内内外の協定大学の正課科目を受講することでAPUにはない専門知識を深めることができた。	手続を経て留学先での取得単位を APU の単位として認定
国際教養大学 (日本、秋田)							
33	海外交換留学	海外派遣	海外協定大学のいずれか				
34	短期サマー/ウィンタープログラム	海外派遣		約1～4週間(派遣先大学により異なる)			